

報道機関 各位

長浜バイオ大学の新棟・命翔館に、他大学に例を見ない、 小中学生対象の科学実験施設「長浜学びの実験室」を開設。

2016年3月16日

長浜バイオ大学

問合せ先：広報担当 0749-64-8100

kouhou@nagahama-i-bio.ac.jp

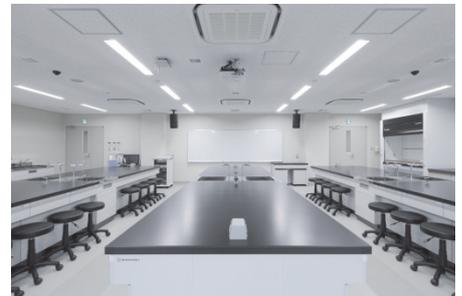
平素より本学の教育研究活動について、格段のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

長浜バイオ大学を運営する学校法人関西文理総合学園（滋賀県長浜市）は、滋賀県では唯一となる臨床検査技師養成プログラムの実習室と、アクティブラーニングルームが配置された命翔館を新設、3月8日に竣工式を行いました。この命翔館の1階には、長浜市内の小中学生が対象の科学実験施設「長浜学びの実験室」を開設、長浜バイオ大学の教員を講師に、理科実験を通じて小中学生が科学の面白さを体験します。



新棟・命翔館

「長浜学びの実験室」は、小中学校の1クラスの授業ができる定員40人の実験室で、走査型電子顕微鏡1台、双眼顕微鏡41台、実体顕微鏡21台などの実験機器を備え、植物や昆虫、プランクトンの観察を通して、生き物の仕組みや不思議さを体験することを目標にしています。これらの機器は長浜市からの補助金で整備しました。



長浜学びの実験室

実験は、長浜バイオ大学の教員と地域連携推進室担当者を講師に、長浜市内の小中学校のクラス単位に授業として行われます。運営は、長浜バイオ大学と長浜市、長浜市教育委員会の三者による運営協議会が担い、新年度から小学校教員経験者の専任コーディネーターを配置して事業をスタートさせ、将来的には、長浜市内の小学5年生と中学2年生の全クラスが、年1回この実験室で科学実験を行う予定にしています。

小中学生対象の恒常的な実験専門施設を、学内に開設している大学は他に例を見ず、長浜バイオ大学は「教育活動を通じた地域貢献」と位置づけ、科学体験を通じた理系人材の育成に貢献していきます。



走査型電子顕微鏡